

鹿島川のみどころ

大昔から耕されてきた谷津田の風景

広い空の下、豊かな緑の丘と木々がのびやかに広がる田畑を縁取っています。千葉市の中心部から少し離れるだけで出会えるこの田園風景は、鹿島川の上・中流域にあたる市内東部の大きな魅力。



千葉の穀倉地帯を流れる鹿島川



谷津田の風景

谷間に沿ってつくられる谷津田が多く見られるのも、このエリアの特徴です。縄文の昔から長い時間をかけて川が削った地形を生かす農耕が、この地域を市内有数の穀倉地帯に育てました。

昭和に入って土地改良が行われたことで大きな水田も増えましたが、鹿島川は変わることなくその恵みを大地に与え続けています。

川と湧水群が潤す豊かな田園

川と並んで欠かせないのが、あちこちで湧き出す湧水群。農業用水として使われるほか、澄んだ水が育てる野草や生き物がこの地をさらに潤いあるものになっています。

水と緑に囲まれて、サイクリングコースを走ったり散歩を楽しんだり。ゆったりとした田園時間を味わいながらのボタリングは、鹿島川おすすめの楽しみ方のひとつ。週末、出かけてみませんか。



あちこちで見られる湧水



サクラ並木のある大池



サイクリングコースをゆったりボタリング



富田さとにわ耕園

農耕や自然志向の食体験で里山文化にふれる

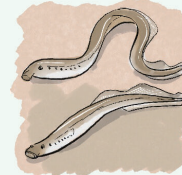
まちなかからもほど近いこのエリアでは、耕作を休んでいる田畑を活用した貸し農園や、自然志向の食物を自らの手でつくる体験など、気軽に農と食にふれられる場がいくつもあります。



昭和36年、発動機を使った脱穀作業
(撮影・前角榮喜／千葉市立郷土博物館蔵)

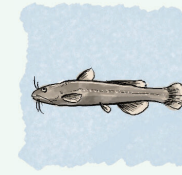
気軽に寄るなら、富田さとにわ耕園もおすすめです。畑に隣接して遊歩道、池、花壇もある広大な農業公園は、春には満開の芝桜が咲き乱れ、四季折々の里山の風景が楽しめるスポット。周辺にはキャンプ場もあり、子どもたちも楽しめる場となっています。

鹿島川に暮らす生き物



スナヤツメ

普段は砂の中にいて、3～6月頃に産卵のために砂の中から出てくる。



ギバチ

水のきれいな中流～上流下部に暮らす。背びれと胸びれにとげがある。



シマドジョウ

中流～下流域の砂底に暮らす。砂によく潜り、砂中で越冬する。



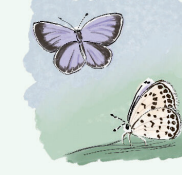
ハグロトンボ

初夏から秋頃にかけて、川の比較的明るい岸边などで見られる。



サワガニ

きれいな水の指標生物。浅い小川の石の下などにいる。



ヤマトシジミ

春から秋にかけて見られる。大きさ15mmほどのかわいらしいチョウ。



カミツキガメ

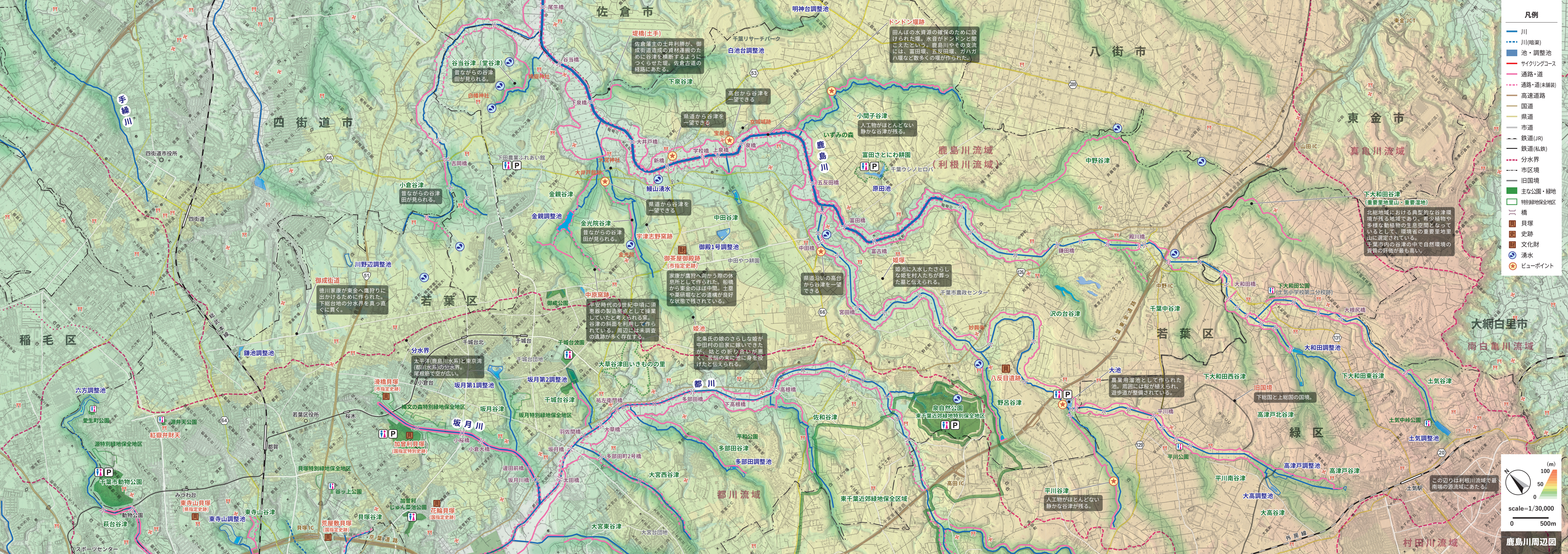
北米～中南米が原産のカメ。印旛沼水系で数が増えている。

鹿島川のあゆみ

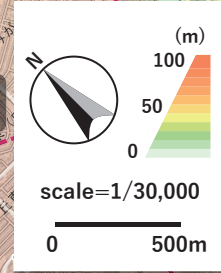
850 年頃	中原黨など谷津の斜面を利用した窯で須恵器の製造がおこなわれる。
中世頃	香取の海と千葉湊を結ぶ重要な交通路だった。
1613 (慶長 18)	徳川家康により御成街道が築造される。
1977 (昭和 52)	千葉市東部土地改良区の設立
1978 (昭和 53)	土地改良事業着工
1990 (平成 2)	同事業完了



千葉市の川 すいすい探検マップ 鹿島川	
2024年8月	初版発行
発行	千葉市都市局 都市政策課 かわまちづくり班
企画	株式会社オリエンタルコンサルタンツ
制作・編集	合同会社みちくさ／合同会社青空編集事務所
印刷・製本	三陽メディア株式会社



- 凡例
- 川
 - 川(暗渠)
 - 池・調整池
 - サイクリングコース
 - 通路・道
 - 通路・道(未舗装)
 - 高速道路
 - 国道
 - 県道
 - 市道
 - 鉄道(JR)
 - 鉄道(私鉄)
 - 分水界
 - 市区境
 - 旧国境
 - 主な公園・緑地
 - 特別緑地保全地区
 - 橋
 - 貝塚
 - 史跡
 - 文化財
 - 湧水
 - ビューポイント



鹿島川周辺図